



MEDIPOLIS

MEDICAL RESEARCH INSTITUTE



メディポリス指宿通信 2022 年1月号



年頭のご挨拶 New Year Greetings



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスの今後の動向はわかりませんが、メディポリス国際陽子線治療センターでは、万全の感染症対策を継続し、患者様に安心して治療に臨んでいただく環境を維持いたします。お陰を持ちまして、今年で開業 12 年目を迎えることとなり、治療実績も 4,600 症例を超えるところとなりました。

不安な日々をお過ごしの皆様が少しでも心穏やかに過ごせるよう、一日も早く新型コロナウイルス蔓延が収束することを願うと共に、本年が良き年でありますよう祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。 本年もよろしくお願い申し上げます。



開聞岳 初日の出



センター長 荻野 尚

治療期間の滞在先

患者さんの治療期間中の滞在先に関するご質問をいただきます。センターに隣接している「HOTEL フリージア」・「さくら荘」と2つの宿泊先がございます。どちらもリーズナブルな料金となっておりますので、ご宿泊頂き、温泉に浸かりながらゆっくりがん治療ができます。



[HOTELフリージア]1泊(朝食付き) 6,800 円～



[さくら荘(簡易宿泊施設)]1泊 2,200 円～

HOTEL フリージア・さくら荘に関するお問い合わせ先 **[0993-26-3860]**
ホームページ QR コード



温泉に

指宿天然温泉



観光に

釜蓋神社



散策

遊歩道で季節を感じる

お問い合わせ

一般社団法人 メディポリス医学研究所
メディポリス国際陽子線治療センター
〒891-0304 鹿児島県指宿市東方4423番地
【治療相談】 ☎ 0120-804-881

お知らせ



ホームページ

さまざまな SNS でメディポリスの情報を発信しております。QR コードを読み込んでいただき、是非ごらんになってください！

Instagram・Facebook・LINE も更新しております！



YouTube

🌸 前立腺がん、陽子線治療の準備—どんな検査をするの?—

公的医療保険適用で増えてきた前立腺がんの治療。

初日にどのようなことをするのか動画で詳しくご説明いたします。

初日の流れは、診察→看護師からの説明→放射線技師からの説明→検査開始の流れとなります。陽子線治療を受ける際に必要な「固定具」もどのように作製されるのか?実際に撮影いたしました。治療を受ける前にご視聴頂くと、初日の流れが分かりご安心されると思います。



公式チャンネルは
こちらのQRから
ご覧頂けます!

YouTube メディポリス公式チャンネル
イブすっきー 第27弾
【前立腺癌陽子線治療の準備—どんな検査をするの?—】



🌸 メディポリスよもやま話 [その⑧・病の得方]

『主人が病気になって得るものが沢山あるの。主人が居てくれて本当にありがたいんです。』
Sさんに付きっきりで介護している妻の言葉にハッとして、その語りに聞き入りました。

Sさんが陽子線治療を受けることを決めたのは、治療を受ける9カ月前に遡る。
左右の肺の間にある縦隔という部分にできた腫瘍で、心臓や気管支に近く、また合併症もあるため、手術は困難と診断された。Sさんの持病は筋萎縮症という運動神経が損なわれる病気で電動車椅子を利用しているが、自宅では介護サービスを受けることなく、妻が日常生活を全面的に介助していた。

陽子線治療の相談は、在住県の当院オフィスと医師のいる指宿とをつなぎTV面談で行われ、その後、電話で妻と相談して来院日程を決めた。しかしそれは、長期に渡る連絡調整の始まりだった。
肺炎を起こして入院した、もう少し時間がかかりそう、まだ掛かりそう、ようやく退院できたので来院日を再予約したい、腎機能が悪くなり、また入院が必要になった、…と電話でのやり取りが続いた。一時は“治療できない状態になるのでは”と頭を過ぎったが、幸いにも進行の遅い腫瘍で、9カ月を経てようやく指宿でSさん夫妻と対面することができた。



当院に来るまでの経緯や来てからの甲斐甲斐しい介護ぶりに、妻は疲弊しきっているのだろうと勝手な思い込みをしていた私。ところが、Sさんの傍に寄り添いながら、自作のおしゃれな服を身にまとい、刺繍の大作に挑戦し、遊歩道の山野草を愛で、夫婦でラジオの連作ドラマを愉しむ。指宿での治療期間中も自分の趣味や楽しみを満喫している妻の様子に、こちらが「介護」と思っていることは彼女の中では「生活」になっているのだと気づいた。癌なら早く治療しなければと思うのもこちらの心理で、電話のやり取りの中で全く焦る様子なかった理由も飲み込めた。

何十年と夫と病に寄り添い、Sさんができるタイミングならする、できないタイミングならしない。一喜一憂することは生活の一部。

病の得方にも十人十色、『患者さんの人生の中の今の時間を考える』いつも掲げている目標でありながら、患者さんに感心させられる毎日です。

治療症例実績数 4646 件

・前立腺	2204	・痔	307	・骨軟部	105	・乳がんの術後照射 (外国人含む)	3
・肝・胆管	684	・転移 (リンパ節)	315	・腎	26	・早期乳がんの非手術治療	13
・肺	611	・頭頸部	207	・その他	171		

(2021年12月10日現在)